



高岡西部小だより

令和7年10月24日 発行 No.6

高岡市立高岡西部小学校



高西小 HP

★地域の方からのありがたいメッセージ「挨拶の大切さ」について

毎日、子供たちの登下校を見守ってくださる地域や保護者の皆様、いつもありがとうございます。バスが見えなくなるまで見送ってくださる方、千保川のそばまで一緒に歩いてくださる方、心配で学校の玄関まで見届けてくださる方もいらっしゃいます。また、鹿の出没情報が入ると、地域総出で声をかけ合い、見守りに立ってくださいます。

このように、多くの皆様の温かい支えのもとで、高岡西部の子供たちは今日も安心して登下校することができています。地域の皆様のお力添えに改めて感謝いたします。

さて、パトロール隊の方から、次のような声をいただきました。

「毎回思うのは“あいさつ”です。こちらから『おはよう！』『お帰り！』『さよなら！』と声をかけても、何も返ってこないことがあります。すると、だんだんこちらも声をかけづらくなります。事故から守ってあげようという気持ちも薄らいでいきます。大変なことです。

出張先などで小学生から大きな声で『こんにちは！』とあいさつされると、びっくりしますが、清々しい気持ちになります。」(略)

毎日、子供たちの安全を願いながら声をかけてくださっている方々の率直な思いだと考えます。この言葉を受けて、私たち教職員も、地域の皆様への感謝の気持ちを改めて深くするとともに、「あいさつができる子」を育てる教育を学校全体でさらに推進していきたいと考えています。



子供たちもどうしたら地域の方に気持ちよくあいさつできるか試行錯誤しています。恥ずかしがらずにあいさつできるようプラカードを作ったり、タスキをかけて自主的に正門に立ち、登校する友達や地域の方にあいさつを交わしたりしています。

あいさつ運動の後には、みんなで集まってミーティングを開き、うまくいったことや次に挑戦したいことを話し合っています。



地域の皆様、どうぞこれからも遠慮なくご指導をお願いします。皆様の温かい眼差しが子供たちの安心と成長を支えています。地域・家庭・学校が力を合わせ、子供たちが心から「おはようございます！」と笑顔であいさつできるようにしていきたいと思っています。ご家庭でも、あいさつの習慣づけや励ましの声かけをよろしくお願いいたします。

★「わたしたちのまちってすごい！」地域の魅力を再発見！！

本校では、総合的な学習の時間に地域学習に取り組んでいます。自分の足で歩き、見て、聞いて、感じることで子供たちは高岡西部校区のよさを改めて実感しています。

先日、高岡市地域おこし協力隊の方から高岡市や高岡西部校区の魅力についてお話を伺いました。また、金屋町にも出向き、地域の歴史や文化に触れる学習を行いました。当日は、ボランティアの皆様が快くご協力くださり、町の秘密や金屋町の歴史・伝承について、子供たちの質問に丁寧に答えてくださいました。町を支える方々の誇りや、長い年月をかけて受け継がれてきた伝統、地域の人々の温かさに触れ、子供たちは目を輝かせていました。

学習後には、「毎日住んでいるけれど、言われてみたら、すごいところなのだとはじめて知ったよ」「自分の町のよさをもっと伝えたい」という声も聞かれました。こうした地域の方々との出会いが、子供たちの学びをより一層「本物の学び」へと深めています。

これからも皆様に支えていただきながら、子供たちがふるさとを誇りに思い、未来を切り拓いていける力を育んでいきたいと思ひます。ご協力に心より感謝申し上げます。



★小中一貫教育の推進 ―中学校との交流を通して―

本校では、高岡西部中学校と定期的に話し合いの場を設け、小中連携の充実を図っています。

今後は、両校のマスコットキャラクターをコラボさせ、「あいさつのぼり旗」を作成するなど、両学校の関わりを意識した取組も計画しています。キャラクターが小学校と中学校の“つなぎ役”となっていくことも期待しています。

また、新校舎の配置についても意見交換を行い、教職員同士の交流も深めています。



小学校「セイポン」と中学校「にしまる」



中学校にてトイレの無言清掃見学

先日、6年生が中学校を訪問し、授業の様子や部活動、「無言清掃」の取組等を見学しました。憧れの中学生の姿に圧倒されるとともに、「自分たちで考えて動く無言清掃」に、驚きと感心の声が挙がっていました。このような中学生の姿に触れたことは、6年生にとって大きな刺激となりました。

今後、施設一体型小中一貫校として、小中学生が協力し、どのような新しい学校を築いていくのか楽しみです。これからも連携を深め、よりよい関係づくりを進めていきます。